

## 交換留学(派遣) 帰国報告書



皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。  
 ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。  
 ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後、1ヶ月以内に写真データと一緒にメールで提出してください。

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	ウィーン経済大学
留学先での所属学部・研究科:	経営学部
留学先での在籍身分:	交換留学生
留学期間:	2022年9月1日～2023年7月23日
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	4回生
帰国日:	2023年7月23日
本報告書記入日:	2023年7月25日

## 1. 留学先大学について

1-1	受入許可書(Acceptance Letter)を貰えた日	4月 12日
	参加必須のオリエンテーション日	9月 14日
	学期:	① 10月 1日～ 1月 31日
		② 3月 1日～ 6月 30日
		③ 月 日～ 月 日
④ 月 日～ 月 日		
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入してください。	少人数制授業、経営学全般
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	
	語学面でのサポート:	Buddy Programがあり、空港のピックアップなどまで助けてもらえる。
	勉強面でのサポート:	教授は基本的に対面でもメールでも質問対応してくれる。
	精神面でのサポート:	受けたことはないが、定期的に大学主催のカウンセリングがあると思う。
	住居・生活面でのサポート:	大学が推奨する学生寮に入居することができる。(先着順)
	課外活動のサポート:	セメスター前のプログラムの内容は濃い。

## 2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	基本的にOEADという学生寮のGasgasseかMolkereistrasseから選べば良い。他のWUの留学生もたくさん住んでいて、ルームメイトとも仲良くなれるしプライベートも充実した。自分はGasgasseに住んでいたが、少しキャンパスから遠いこと以外デメリットに感じたことがなかった。
-----	--------------------------------------	--

## 3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	寮のwifiが使えるため個人でルーターを準備する必要はないが、電波はあまり強くなかった。家賃にwifiの使用量も含まれている。
3-2	医療について	
	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	一度歯科医院で治療を受けた。小さな虫歯の治療だけで80EURと日本では考えられないほど高額だが現地の保険で80%カバーされるのでそこまで痛手ではなかった。
3-3	銀行口座等について	
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	在留許可の申請のため現地の銀行口座を開いて一定量のユーロを入れることが必要。

## 4. 経費について(奨学金、留学費用)

4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	JASSO奨学金
	支給額(円/月):	8万円
	その他(渡航費等の支給):	
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	200,000 円
	住居費:	(月額) 85,000 円 × (留学月数) 10ヵ月 = 850,000 円
	食費:	(月額) 70,000 円 × (留学月数) 10ヵ月 = 700,000 円
	保険料:	12,000 × 10ヵ月 = 120,000 円
	その他:	旅費など 500,000 円
	合計(留学期間全体の費用):	2,500,000 円

## 5. 異文化体験について

5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	特に大学で感じたことだが、とにかく主張と、論理立てて説明することが大切。黙ったままだと議論はおいていかれるしわざわざ向こうから意見を聞いてくれる文化はない。かといって主張をすれば鬱陶しがられるということはないので積極的な発言が受け入れられる国。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	特になし。
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	特になし。
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	治安は日本並みに良いと感じる。スリなどの被害にもあわず安全に暮らせる街であることには間違いはない。

6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	ボストンキャリアフォーラムに参加し、そこで内定をいただくことができた。フォーラムの開催自体は11月だが8月くらいから選考が始まる企業がほとんどなので事前の準備が必須。

7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	地球の歩き方ウィーン版
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	常備薬、ヒートテック
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	人生のあらゆる面でプラスに働くような経験ができる。英語力はもちろん、努力次第でドイツ語もある程度身に付く環境で、これまでの価値観が刷新されるようなことばかり。留学前から将来はグローバルな環境で働きたいと思っていたが、この10か月を経てさらにその思いが強まった。
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:( 93点 ) → 帰国後:( ) 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	歯科医院探しに苦労したこと。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	適切でした。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	大いに薦める。学生というある程度時間の自由があるうちに長期間海外に滞在することで、決して国内だけでは得られない経験ばかりが待っている。留学生活はもちろん楽しいことばかりではないが、これからの人生において重要な意味を持つことばかりだ。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	5
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	4
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	5
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	4
	・全体として留学に係る費用は安かったかと思いい、満足しましたか	3
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	4
	・留学全体の総合的な評価	5

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)	
<p>ウィーンは世界で最も住みやすい街ランキング1位に選ばれるなど、治安面はもちろん、エンタメ性から見ても世界有数の都市だ。ドイツ語ができなくても、市内のほとんどの人が英語も喋れるため不便を感じる事がほぼない。公共交通機関も発達しており、どこに行くのにも電車やトラム、バスを極めて非常に便利である。ちょうど僕が留学していた2022年から2023年にかけてはロシアとウクライナの戦争や急激な円安の進行で経済的には負担が軽いとは言えなかったが、それでも得られる貴重な経験を考えるとおつりがくると言ってもよい。さらにおすすめしたい理由が、ビールとワインのおいしさである。これは世界一と言ってもいいだろう。お酒が好きな人にはぜひおすすめしたい留学先だ。少し冗談っぽくなってしまったが、オーストリアはヨーロッパの中央に位置しているため、西洋諸国のみならずトルコなどの中東からも文化の流入があるため一味違った雰囲気を楽しむこともできる。旅行先も電車で手軽に行ける国が多く、日本からでは選択肢になりにくいブダペストやブラハ、ミュンヘンなどにも行きやすい。</p> <p>ウィーン経済大学に関しては、ヨーロッパにその名をとどろかせる経済学、経営学の名門である。ヨーロッパのみならず世界中から学生が集まっており、授業のレベルも高い。留学生も多いため大学が様々なプログラムを用意しており、世界中に友達を作ることもできる。少人数制の授業が多く、一方的な教授の説明だけでなくグループワークやディスカッション、ケーススタディが必ず含まれていると言ってもいいほどアクティブなスタイルの授業が多い。もちろん資料作成からプレゼンまですべて英語で行うので最初は慣れないかもしれないが、英語を磨くにはうってつけの機会だ。実際に自分も2セメスター目には進歩を実感するほどの成長が得られた。開講されている授業も幅が広く、日本の大学ではあまり見ない企業論や、サステナビリティ系といった授業も受講できるので、一味違った分野にも触れることができる。</p> <p>といった風にウィーンへの留学は非常におすすめできる要素が多い。もちろん授業のレベルは高く、テスト前は図書館にこもって勉強などの地味で楽しいとは言えない日々のほうが多いが、その分自身のスキルアップには必ずつながる経験ができる。留学と言えば英語圏に目を向けがちだが、ウィーンにはウィーンだけの、ヨーロッパにはヨーロッパだけの魅力がたくさんある。気になった方はぜひ一考してほしい。</p>	

あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書と共にGEMsにアップロードしてください！		
	もしあなたと同じ大学(国)に留学する神戸大学の学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか？	はい
	同意する場合、連絡可能なメールアドレス:	

## 1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数／週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Corporate Finance	Christian Kreidl	3h	6	英語	28	授業内容は資本コストやCAPMなど、基本的なコーポレートファイナンスに即している。ただ、グループワークの内容が実践的で、実際のケースに即して投資戦略の判断をするというものだった。テストは基本的な計算問題で難易度はそこまで高くなく、全体的に興味深い授業だった。
2	Specialization Course - Corporate Governance	Klaus Gugler	4h	12	英語	12	コーポレートガバナンスについての専門的な授業。エージェンシーコストから適切な役員報酬、各国のガバナンス制度の違いなどをこれでもかというほど細かく分析していく。回帰分析も用いるシーンが多々あったため、経営統計などの基礎知識を習得してから履修することをお勧めする。
3	International Equity Valuation and Analysis	Christina Mühr	3h	6	英語	28	財務諸表の分析が主な講義内容。非常に実践的な内容で、分析の仕方から実際のケースに沿った課題などもあるためファイナンスの知識を一段完レベルアップさせたい人にはお勧め。ただ、日本とヨーロッパでは会計基準が違うため最初は戸惑う可能性がある。

## ・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

--